

## 和歌山市立広瀬小学校

5年生 総合的な 学習の時間	<p>5年生が、JA紀の里の協力を得て、紀の川市鞆洲地区の農家で民泊を行い、みかんや柿の収穫、桃ジャム作りの体験を行った。和歌山県の特産となっている農産物についての事前学習や学校での米作りを行い、体験学習が深まるようにした。本学習により、和歌山県の農産物の素晴らしさやおいしさを実感することができた。また農業にかかわる人の工夫や苦労も学ぶことができた。さらに、民泊でお世話になった農家の方々に学校に招待して、事後交流も行うことができ、お互いに相手を思いやることができた。</p>
	<p>郷土・和歌山の先人である陸奥宗光についての学習を深めた。まず、陸奥宗光の紹介パンフレットで事前学習を行い、和歌山市岡公園内の陸奥宗光伯銅像の周りに桜の木を植樹する没後百二十年事業に参加した。和歌山への郷土愛を育み、子供たちのキャリア形成に有意義なものになった。</p>

## 和歌山市立和歌浦小学校

4年生 総合的な 学習の時間	<p>「畑作りから始まるジンジャエール作り」</p> <p>「畑作りから始まるジンジャエール作り」とあるように、伐採することによってできたスペースを4年生が畑にするために耕し、土作りから始めた。「生姜を植え、お世話になった人たちにジンジャエールを作って飲んでもらおう！」という目標に向かって総合的な学習の時間に取組を行った。</p> <p>畑作りから行い、苦労することで収穫の喜びも大きいと考える。また、布引で生姜を栽培している農家を訪ねて生姜作りについて学んだり、ジンジャエール作りをしたりする中で、和歌山の生姜の良さを実感した。</p> <p>今回の取組では、生姜農家の増田さん、野菜ソムリエの中西さん、JA和歌山の方々がたくさんの方々との出会いを設定している。それぞれ仕事にプライドを持ち、それぞれの道を追われている方々である。これらの方々との出会いを通して、4年生の子供なりに一つのことを追求する大変さや厳しさ、またその中で生まれるやりがいや楽しさを子供たちは感じ取ったようであった。</p>
3年生 総合的な 学習の時間	<p>「わたしたちの和歌浦干潟」</p> <p>本校の3年生は、3年前から、和歌浦漁業協同組合の横田さん、徳島大学講師の平井先生、和歌山市水産課と一体となり「あさり姫プロジェクト」に関わっている。子供たちは「干潟での潮干狩りを復活させよう」を合言葉に、和歌浦の干潟について調べ、何度も足を運んで干潟の素晴らしさを知り、どうしたら良い環境を取り戻すことができるのかを真剣に考え合った。そして地域の方々と一緒にアサリを守るための「なよ竹部屋」を作り、干潟に埋める活動も行った。</p> <p>この取組を通じて、潮干狩り復活に向けて奮闘されている人々の干潟に対する愛情や努力、思いを体験的に知ることによって子供たちは地域への愛着を一層深め、和歌浦の一員であるという自覚の中で積極的に地域と関わりをもつという意識が高まったようであった。</p>
5年生 総合的な 学習の時間	<p>「もっと！わたしたちの和歌浦」</p> <p>和歌浦が日本遺産に認定されたことをきっかけに、もう一度地域の良さを見つめ直し、同じく日本遺産に認定され、観光客も増えている湯浅の町と比べることで「もっと和歌浦の魅力をたくさんの人々に伝えたい！そのためにはどうすればいいの？」という課題が生まれ子供たちが動き出した。</p> <p>単元の最後には和歌山市の観光課の方に来校していただき、自分たちで考えた「5年1組和歌浦レベルアップ作戦」のプレゼンテーションを行った。</p>

## 和歌山市立西脇小学校

6年生 総合的な 学習の時間	自分たちの地域にある磯ノ浦は誇るべき素晴らしいところだと子供たちと話し合い、もっとたくさんの人に知ってもらいたい！自然を残しつつ有名にしたい！という気持ちから、「磯ノ浦調査隊」として良い所悪い所を出し合った。2学期には1学期で話し合った悪いところ「道がせまい」「道路がぼこぼこしている」ということから、どうにかしてよくなれないかと考える取組をした。そして3学期には卒業制作として「磯ノ浦壁画アートプロジェクト」として海辺の防波堤に壁画をかく取組を行った。もっと磯ノ浦を身近に感じ、卒業後も「磯ノ浦はわたちたちのふるさとだ！」と思ってもらえるように取り組んだ。子供たちは取組の時間から笑顔が絶えず、磯ノ浦に住む地域の人たちと協力して行うことができた。
2年生 生活科	校区探検で西脇地区を学習した。西脇のすごいところをインタビューなどで探した。そこから名物のしらすをアピールするため、南海加太線のめでたい電車を参考にしらす電車を考え、南海加太線の方に提案した。


## 和歌山市立三田小学校

2年生 生活科	「レッツゴー町たんけん」で、自分たちが住んでいる地区を歩いて、神社や駅、駄菓子屋などを見て回り、地域の方にインタビューをして、見たり聞いたりしたことを新聞にまとめた。 「世界津波の日」にちなんで、11月5日に和歌山県で起きた大津波の際に、多くの人々を救った浜口悟陵の「稲むらの火」を紙芝居で読み聞かせをし、話し合った。
5年生 総合的な 学習の時間	総合的な学習の「米作り体験」を通して、子供たちが「いのち」のつながりを感じ、地域・学校・家庭の交流が身近なものになることをねらい、地域の田んぼを借りての「米作り」に取り組んだ。 初まきに始まり、田植え、稲刈り、脱穀、なわなひ、もちつきと1年間を通じて、地域の農家の方に講師になっていただき、丁寧に教えていただいた。 スタートしたばかりの頃、農業はしんどい、汚い、臭いなどいいイメージをもっていなかった子供たちが多かったが、体験や講習を通して、楽しさや喜び、苦労や工夫を感じ取り、勤労の大切さも感じたようであった。周囲を水田に囲まれたのどかな地域「三田」の良さが実感となって子供たちの心に残る学習となった。
6年生 総合的な 学習の時間	市内の和菓子職人を通じて、和の文化やキャリアについて学ぶ取組を行った。地域特有の和菓子や和歌山を訪れる外国人観光客の人数を調べることで学びを深めることができた。 実際に出会って交流できたことで、仕事や文化に対する思いをより深く理解することができた。 販売体験も、ぶらくり丁で開かれているマーケットに出店させてもらうことで、学習したことを一層本物に近い形で生かすことができた。



## 和歌山市立浜宮小学校

6年生 社会科	地域に住む行政相談員の方に来ていただき、総務省和歌山行政評価事務所の協力を得て、6年生に政治の仕組み、税金の使い方についての授業を行った。自分たちの住む地域で困ったこと（公園施設が壊れていることや道路にカーブミラーがほしい等）を出し合い、その要望が県や市の機関を通して、修繕されていく過程を知ることにより政治の仕組みを学んだ。
------------	---


## 橋本市立境原小学校

<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>伝統芸能としてこの地域に伝わる「境原太鼓」を練習し、夏祭りや学校開放・卒業式等に披露している。特別非常勤講師の指導の下、全員が演奏できるようになっている。また、地域の人々と「太鼓クラブ」を通じて交流し、伝統芸能を守っていこうという気運を高めている。そのため、地域に愛着を持っている児童が多くなっている。今年は特に「前畑秀子朝ドラ誘致大会」のオープニングで演奏を披露し、橋本の先人についても触れることができた。</p>	
------------------------------	---	---

## 橋本市立清水小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域にある世界遺産「黒河道」を教材に、その歴史や保存・啓発にかかわっている人々の思いを知り、ふるさとに愛着をもつとともに、ふるさとを守っていこうという意欲を育てることをねらいに取組を行った。具体的には、実際に黒河道をスタート地点から3 kmを歩く 黒河道のゴールである高野山奥の院を見学する 黒河道の歴史について地域の有識者に教えていただくなどの活動を行った。児童たちは、地域にある世界遺産を実際に歩き、この道を重い荷物を担いで歩いた昔の人の苦労を身にしみて感じるとともに、草刈りや造成して道を保存する方々の熱い思いにふれることができた。</p>	
<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の史跡について学習した。市ホームページなどで調べ学習をした後、地域の方からの聞き取りや現地学習を実施した。船着き場を示す常夜燈や黒河道の出発地点である定福寺など江戸時代の繁栄ぶりがうかがえる史跡や地域の発展に尽くした方の功績を示す碑などを見学した。ふるさとを守り繁栄させていこうとする地域の人々の熱い思いにふれることができた。地域に史跡がたくさんあることを知り、地域に誇りをもつことができた。</p>	




## 橋本市立あやの台小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>自分たちの住んでいるあやの台地域を知ってもらおうということで、パンフレット作りに取り組んだ。地域にあるお店などにインタビューに行き、お店の特徴についてまとめ、感想を加えた。それらの原稿を集め、整理し、あやの台を紹介するパンフレットを作ることができた。多くの人と関わり、自分たちの住んでいるふるさとの良さをアピールする活動に取り組む中で地域への愛着が持つことができた。</p>	
-------------------------------	--	---

## 高野町立花坂小学校

<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>「米作り・地域の特産品」を中心とした地域の自然環境や産業（農林業）について、全校児童4名で学習した。田植えと稲刈り体験、校区の名産品の焼餅づくり体験、地域の農産物の加工体験、「花いっぱい運動」「ふるさとクリーンアップ運動」等を校区の皆様と一緒にいき、校区内の生活等について知る学習を展開した。学習の成果については、学習発表会や保護者・地域の皆様への参観授業の際に発表した。子供たちだけでなく、地域の皆様にも郷土の良さや今後の在り方について考えていただく機会とすることができた。</p>
------------------------------	---

## 岩出市立岩出小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>紀伊風土記の丘に見学を訪れる際に、歴史について興味を持つことができるよう、岩出市の歴史について調べた。その後、学級毎に根来寺に絞って、調べ学習に取り組んだ。方法として、実際に根来寺を見学し、市の指導主事やお寺の方から話を聞いたり、ホームページや図書の本等を活用したりして進めた。身近な根来寺の歴史について理解を深め、ふるさとに対して愛着を持つことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
-------------------------------	--

## 海南市立南野上小学校

<p>4・5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>和歌山市立雑賀崎小学校5年生との交流学习を実施した。南野上小学校では、農業を営んでいる家庭も多く、米作り体験を通して、農業が盛んな本校地域の特色を理解することができた。稚魚放流体験を通して、雑賀崎小学校地域では、水産業が盛んなことを知ることができた。</p> <p>それぞれの地域の特色である、農業や水産業について学習・体験することにより、ふるさと学習の取組を進めることができた。</p>
<p>全校 総合的な 学習の時間</p>	<p>11月に、全校児童で「南まつり」と「和歌山大学教育学部附属小学校複式学級」との交流学习を実施した。</p> <p>「南まつり」：農作物の収穫を祝う「子どもみこし」の練り歩きや「太鼓演奏」などを地域の方々や保護者、和歌山大学教育学部附属小学校複式学級に披露した。</p> <p>「交流学习」：子供たちが考えたゲームで交流した。和歌山大学教育学部附属小学校複式学級はダンスを披露してくれた。交流会のために、地域のボランティアの方々や保護者が昼食（おにぎり・豚汁）を作ってくれた。</p>
<p>4年生 社会科 5年生 国語科</p>	<p>4年生社会科学習で「和歌山県の先人」について取り組み、井澤弥惣兵衛、浜口梧陵2名の活躍した時代背景や業績等について、図書室の書籍や「ひらけゆく和歌山」、インターネットを使い、調べ学習を行った。井澤弥惣兵衛の調べ学習では、学校の近くを流れる用水路や亀池を見学し、井澤弥惣兵衛の「水に対する業績」について考えることができた。</p> <p>5年生の国語科でも、浜口梧陵について学習した。12月に、「稲むらの火の館」を4・5年生児童が訪問し、浜口梧陵の業績や防災について学ぶことができた。</p>



## 海南市立異小学校

<p>2年生 生活科</p>	<p>自分たちの町に関心を持ち、地域の方々や様々な場所やものに関わって生活していることに気づくことをねらいとし、自分たちが住む町（地域）を探検する学習を行った。</p> <p>探検の際、グループごとに、地域の方や保護者に付き添っていただきながら、校区内の神社や事業所を訪問し、お話を聞いた。地域の方々につき添っていただくことで、異世代交流の機会となった。</p>
--------------------	---


## 海南市立巽小学校

4年生 総合的な 学習の時 間	<p>本校すぐそばに広がっている県立公園の亀池は、井澤弥惣兵衛が築造したという有名な大堤である。高学年のマラソンコースになったり、中学年では四季を感じる散策コースになったりしている。</p> <p>「地域の発展に尽くした人」で浜口梧陵・華岡青洲等を学習した後で、「地元・地域の発展に尽くした人」として、現地学習を通しての発見や資料を活用してまとめた。</p>
--------------------------	---


## 有田市立糸我小学校

6年生 総合的な 学習の時 間	<p>和歌山の世界遺産を次世代に伝えるために、総合的な学習の時間に世界遺産についての学習に取り組んだ。はじめに、「わかやま何でも帳」を活用し、調べ学習を実施した。それぞれが疑問に思ったことを出し合い、個々に課題を設定した。最後には、5年生と一緒に田辺市本宮町にある県の世界遺産センターへ見学に行き、実際に熊野古道を散策したり、語り部の話を聞いたりしながら課題の解決を図った。子供たちは、学習をとおして、これまで以上に郷土への誇りを持つことができた。</p>	
2年生 生活科	<p>みかんの収穫体験</p> <p>学校近くにある農家のみかん畑で収穫体験を行った。一年間の作業や美味しいみかんの見分け方などについて教わった。また、みかんの収穫作業についての説明をしていただいた後、全員で収穫体験をした。地域経済を支えているみかん栽培農業に興味を持ち、地域の特色を理解し、地域を大切にする心情を育てる一つの手だてとなった。</p>	



## 湯浅町立田村小学校

3年生 総合的な 学習の時 間	<p>「田村のびわ」について学習した。特徴や種類、育て方について、地域の農家に見学に行ったり、本やインターネットを用いて調べ学習をしたりして取り組んだ。また、校内にあるびわの摘果や袋かけ、収穫にも取り組んだ。これらの活動を通し、身近にある果物だったびわを、地域の人達が手間暇かけて栽培してくれていることを知り、子供たちは見る目が変わったようであった。これらの活動を通して、ふるさとのかかわりについて考えることができた。</p>	
--------------------------	---	---



## 湯浅町立田村小学校

4年生 総合的な 学習の時 間	<p>みかんの種類・病気や害虫と薬・生長の様子・季節と仕事の内容を中心に調べ学習をした。畑の観察をし、みかんの木とその仕事について関心を持たせるようにした。工夫や苦勞をお家の方に教えていただき、学び合った。農家の方のご協力で、児童は一人一人、自分の枝を決め、観察・摘果・収穫ができた。児童は農家の方の仕事の段取りに迷惑をかけることなく、愛着をもって体験ができた。みかん農家の子も知らないことが多く、お家の人と話すことで学ぶことができ、お家の仕事を見る目にも変化が感じられた。図鑑や本、インターネットで調べ、田村みかんの値打ちに自信を高めたようだ。一人一人が学びの中で特に心に残ったことについて、配置・文字の色・挿絵を工夫し新聞にまとめることができた。これらの活動を通して、ふるさとのかかわりについてより考えを深めた。</p>	
--------------------------	--	---



## 湯浅町立田村小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時 間</p>	<p>シラスの学習では、子供たちは、個々に課題を見つけ、お家の人に聞いたり、インターネットや本を使ったりして、積極的に調べ学習を行った。シラス加工工場へ見学に行く前には、一人一人が課題をもち、課題解決のために意欲的に見学や質問を行った。工場内を実際に見たり、工場で働く人の話を聞いたりすることにより、学習への意欲をもち、理解を深めることができた。また、秋から冬にかけて「ワカメの種付け～収穫」の学習に取り組んだ。これらの活動を通して、地域のかかわりについてより考え、ふるさとに対する愛着を深めた。</p>	 
------------------------------------	--	--

## 有田川町立御霊小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時 間</p>	<p>林業に関わり人々の仕事を学習し、体験する中でそこで働く人々の努力や思いを知り、森林の大切さを感得することをねらいとして、取組を行った。森林組合の協力を得ながら、林業や森林の現状を映像等を利用して学習した後、実際に森林に行き間伐体験をした。森林の中に入ることはもちろん、のこぎりを使うことも初めての児童も多く、はじめは緊張していたようであったが、慣れるにしたがって、自分たちも森林を守る仕事をしているのだという気持ちからか、積極的に取り組むようになってきた。森林の空気やそのにおいを体全体で受け止め、日頃あまり目にすることのない林業の仕事を体験できたことは、児童のふるさとを愛し、大切にしていこう気持ちをより伸ばさせることができたと考える。</p>	 
------------------------------------	--	--

## 有田川町立久野原小学校

<p>全校 学活</p>	<p>地域に伝わる県指定無形民俗文化財「久野原の御田」を体験した。その後、茶話会において（児童・保護者・老人クラブ会員混合グループ）御田を体験した感想や学校・久野原地区の今昔について交流した。「御田の体験」は、郷土の文化を伝承し、郷土を愛する心を育むために意義があり、地域の方々から学校や地域の歴史、意見を聞ける良い機会でもある。</p>	
<p>4年生 総合的な 学習の時 間</p>	<p>地域の鮎釣り名人の方々のご指導を受けながら、鮎釣り体験をさせていただいた。3年生児童も交えて、児童1人1人にマンツーマンで教えていただいた。鮎のことを詳しく学ぼうとする気持ちが芽生え、また鮎の生息する川の浄化をふくめた環境問題に目を向けるきっかけとなった。</p>	



## 日高川町立山野小学校

<p>全校 総合的な 学習の時 間</p>	<p>地域の自然環境を観察し、自然保護や豊かな地域の自然を学ぶことを目的に江川川調査を1学期と2学期に全校で実施した。</p> <p>内容は校区を流れる江川川で調査箇所を2箇所設定し、地域の専門家の指導を受けながら、全校児童が2班に分かれ、水中昆虫の生態や個体数の調査を行った。調査結果についてはグラフ等にまとめた。特に今年度は、県の統計出前授業を実施し、結果の集計方法等を学習し、5・6年生児童がパワーポイントにまとめ、考察を行った。子供たちは、この調査を通して、身近な自然環境の実態やその保護の大切さを学ぶとともに、ふるさとへの愛着を深めることができた。</p>
<p>全校 総合的な 学習の時 間</p>	<p>地域の伝統芸能である「雀踊り」を学習した。この踊りについては、毎年秋に行われる丹生神社祭礼で踊られる芸能だが、本校では、区民運動会において地域の方々とともに踊る機会を設けている。区民運動会の練習期間において、地域の祭礼関係者を中心に継承されている方々を講師として招聘し、全校児童がその踊りを教えていただいた。低学年の子供たちには難しい面もある踊りだが、毎年学ぶ機会を設けていることもあり、学年が上がるにつれて踊ることができるようになってきている。</p> <p>雀踊りの継承を通して地域の伝統文化について理解を深めることができている。</p>

## 田辺市立田辺第二小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時 間</p>	<p>「地域語り部活動に取り組もう」</p> <p>校区内の遺跡、神社仏閣について、地域の方々の協力を得ながら調べて、まとめる活動をした。この取組により、子供たちは自分たちの校区（ふるさと）に関心を持ち、理解を深めることができた。また、調べたことをその場所で地域に住む方々に対して語って伝える（語り部活動）も行うことで、さらに校区（ふるさと）に対する愛着も深まった。</p>
------------------------------------	---



## 田辺市立大坊小学校

<p>1・2年生 生活科</p>	<p>地域のシンボルである祇園神社のお祭りの踊りを教えていただいたり、お祭りの儀式を見学したりして、自分の住む地域に伝わる伝統行事について学んだ。また、祇園神社が建てられた経緯についても地域の方から教えていただき、祇園神社創建当時の大坊・団栗地区の方々の思いを学ぶ活動も行った。</p>	
<p>1・2年生 生活科 3～6年生 総合的な 学習の時 間</p>	<p>学校に地域の老人クラブの方々を講師として招き、最近あまり自宅で作られなくなったしめ縄の作り方をグループに分かれて教えていただいた。児童たちはできあがったしめ縄を自宅に飾り、新しい年を迎えている。低学年の児童たちはお年寄りの方に教えていただきながら作っているが、高学年の児童達は自分で上手に縄をなうことができた。</p>	



## 田辺市立龍神小学校

1・2年生 生活科	<p>1・2年生で地域の護摩壇山森林公園を教材に、散策しながら講師先生に樹木や草花の名前を教えていただき、自分たちがかわることによってふるさとに対する理解を深め、愛着をもつことをねらいとした取組を行った。森林公園には、ミズナラやブナなどの木が植林され、その後手入れを行うなど、様々な人たちが関わっている。子供たちは秋の紅葉を楽しみながら、赤や黄色に色づいたきれいな葉を拾い集めたり、ミズナラやブナの木の実を拾い集めたりした。講師先生にどんぐりゴマ・やじろべえ・どんぐり人形などの作り方を教わりながら工作を楽しんだ。子供たちは、護摩壇山森林公園での体験を通して、地域との関わりを深めふるさとに対する愛着を深めた。</p>
--------------	---

## 田辺市立上芳養小学校



4年生 総合的な 学習の時間	<p>学校全体として3年生から取り組んでいる「梅学習」をさらに発展させ、ふるさとに対する理解や誇りを持つことを目的として行った。</p> <p>J A 紀南の方から梅の種類や特徴、自然環境についての話を聞いた。</p> <p>さらに、実際に花が咲き始めた畑を観察し、梅の実の着果率について調べるなど、6年生までの学習の見通しを持った。また、地場産業としての取組や地域の活性化を図る人々の思いについて、田辺梅林の会長さんからも話を聞いた。</p> <p>子供たちは地域の特産物である梅をとおして、改めて地域に目を向けることの大切さに気付くことができた。</p>	
5年生 総合的な 学習の時間	<p>4年生から行ってきた梅学習を、さらに継続発展させて学習した。</p> <p>まず、実際に梅拾いを行い、収穫した梅を使って梅干作りも行った。それを製品としてパック詰めにする前には、実際に中芳養梅加工場の見学を行い、衛生管理や流通のしくみについても学んだ。</p> <p>これら一連の工程は学校だけでは難しく、J A 紀南や地域の梅農家の方の協力によるところが大きかった。子供たちは、収穫や加工など様々な活動の中で多くの地域の人と関わり、つながりを深めることができた。また、年間を通して地域への思いを深める体験ができたことは大きな収穫である。</p>	

## 田辺市立上芳養小学校

6年生 総合的な 学習の時間	<p>昨年度パック詰めした梅を、修学旅行先の京都で配布した。梅レシピや地域の特徴を調べた自作のパンフレットや、配布時に使った手作り梅口ロボットなど、子供たちはお互いのアイデアを出し合い、上芳養の梅をPRするという大きな目的に向かって一生懸命取り組んだ。また、見知らぬ地域でふるさとの自慢をPRできたことで、子供たちは自分自身への自信だけでなく、ふるさとに対する自信も深めることができた。さらに、旅行後に届いた礼状にも喜び、自分たちの活動に対する成就感を一層深めることができた。その後、学習のまとめとして地域や保護者の方を対象に語り部活動を行った。世界農業遺産に登録されている地域の梅システムの継続・発展等、子供たちが将来、地域の担い手となる意識を高めることにもつながった。</p>	 
----------------------	--	---



## 田辺市立近野小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>3・4年生複式学級の年間テーマは「～美しく住みよいふるさとにするために～見つめよう、わたしたちのくらしから」である。「体験を通して課題を見つける、課題を解決する方法を見つける、調べたことをわかりやすくまとめ発表する、友達や地域住民と積極的にかかわる、学んだことを生活に生かす」をねらいに取り組んだ。近野の水はどこから来るのか（日置川）、近野の水の歴史（大畑地区の水不足）、水路を探る（井戸・久保円五郎用水路）、近野簡易水道について、地域の学識経験者、行政局の協力を得て、実際に現地で話を聞き、五感を働かせて学習を進めた。今の自分たちの生活を振り返り、自分たち一人一人が生活の中でできることは何か、資料にまとめ発表した。</p>	 
-------------------------------	--	---

## 新宮市立高田小学校

<p>その他 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校の所在する地域は山間部にあり、清流「高田川」に沿って水田が広がり、林業とともに米作りを主とする農業は地域の基幹産業であるとも言える。米作りを通して、収穫の喜びを味わわせ、そのことよって、地域を支える人々や自然、環境を守ることの大切さを知ることをねらいとし、中学校と合同で一連の作業から収穫に至るまで取り組んだ。子供たちは、収穫した米を味わうことよって、おいしい米が地域に生まれるという地域の自然・環境のよさや米作り活動の指導や支援に携わってくれる地域の人々の温かさを感じ取り、改めてふるさとに対する愛情を深めた。</p>
-------------------------------	---

## 那智勝浦町立市野々小学校

<p>3～6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>本地域で行われている「那智大社例大祭」を教材にして、そこに関わる人々の願いを知り、自分達で関わることを通して、ふるさとに対する理解を深め、大切にしていこうという心情を育むことをねらいに取組を行った。3年生以上の児童が事前に現地を訪れ、熊野那智大社の方から例大祭の意味や歴史について教えていただき、実際に行事にも参加した。参加後、学習したことをまとめ、他の地域の方に伝える活動を行った。このような活動を行っていくことで、地域の素晴らしさに改めて気づき、このふるさとを誇りに思う気持ちが育まれた。</p>
<p>3・4年生 複式学級 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域のことについて知ることをねらいとして、この地域への観光客に焦点を当てて取組を行った。熊野那智大社を訪れ、観光客の方や、那智大社近くのお店の方にインタビューを行った。また、那智勝浦町の観光協会に、あげいん熊野詣の歴史について電話でインタビューを行った。児童は、インタビューして分かったことをまとめ、劇にして保護者・地域の方々に向けて発表した。このような活動を通して、児童はこの地域の良さに改めて気づくことができた。</p>

## 串本町立西向小学校

3年生 総合的な 学習の時間	<p>【ポンカン学習】</p> <p>「重畳山」の日当たりのよい斜面を利用してつくられているポンカンを教材にし、ふるさとに対する誇りと自信の育成をねらいとし取組をした。子供たちは、1年を通して、農家の方にインタビューをし、ポンカンの花の観察、摘果、収穫、加工の見学及び体験活動を行い、仕事に携わる人々の願いや喜び、苦勞について知ることができた。子供たちは、ポンカン学習を通して、ふるさとに対する理解と地域や地域の方々との関わりを深め、より一層ふるさとに愛着をもつことができた。</p>
4年生 総合的な 学習の時間	<p>【ひじき学習】</p> <p>地場産業である「ひめひじき」を教材に、ふるさとに対する誇りと自信の育成をねらいとし取組を行った。子供たちは、1年を通して、ひめひじきの収穫、釜ゆで、天日干し、加工工程の見学及び体験活動を行った。商品にする上での知恵や工夫、大切なことがらや心遣いを出し合い、自分たちが収穫したひじきの商品化について考えた。実際に手作りひじきを「子ども祭り」で販売し、地域の方々に喜んでもらうことができた。また、町内の食生活改善推進協議会の方を招聘し、ひじきを使った料理をつくり、より一層学習を深めることができた。子供たちは、ひじき学習を通して、ふるさとに対する理解と地域や地域の方々との関わりを深め、より一層ふるさとに愛着をもつことができた。</p>

## 北山村立北山小学校

6年生 国語科	<p>北山村観光センター、やまのやど、北山村商工会などを訪問し、色々な質問に答えていただき観光者向けの「北山観光パンフレット」を作成し、北山村観光課、北山小・中学校に置いている。また、ふるさとわかやま学習大賞に応募し、リーフレット部門大賞を受賞した。</p>
------------	---